

令和2年11月18日

高体連バスケットボール男子専門部公式戦 感染症拡大防止ガイドライン

東京都高等学校体育連盟
バスケットボール男子専門部

1. はじめに

本ガイドラインは、日本スポーツ協会が作成した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」や東京都教育委員会が策定した「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン(都立学校)、学校の『新しい日常』の定着に向けて」および「東京都高等学校体育連盟新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」に基づき、本専門部における大会開催の指針として作成しました。

なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後見直すことがあり得ることに御留意ください。また、今後、社会情勢が大きく変化し、通常の世界生活に戻るなどした場合の対応は、このガイドラインの限りではありません。

2. 都高体連主催事業再開に当たっての基本的考え方（高体連ガイドラインより）

東京都のイベント開催や教育活動の方針（「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」等）に基づいて、部活動が学校教育の一環であることを踏まえ、以下の条件等が整い感染防止策を徹底することを開催の条件とします。

- ①東京都において、緊急事態宣言が解除されている。
- ②学校教育活動が実施されている。
- ③部活動が実施されていて、生徒の健康と安全が確保できる。
- ④大会は当面の間、無観客の開催とする。
- ⑤参加生徒及び保護者の内諾を得ることを要件とする。

3. 大会開催時の感染防止策について

※代表者会議及び専門部ホームページを通して、参加チームに対し以下の事項を伝達する

【事前の対応】

1. 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ **濃厚接触者である場合**
 - エ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

2. 「チーム参加確認書」(別紙1)のチェック項目の欄を満たしていることを条件に参加し、当日、同確認書を大会本部に提出すること。
3. 全員分の「東京都高体連バスケットボール男子専門部公式戦参加同意書」(別紙2)に記入し提出してもらう。
※こちらの同意書は試合終了後、本部にて引率責任者に返却。所属校にて1か月以上保管しておくこと。
4. 当日参加する選手・スタッフ・大会役員全員がマスクを着用、手洗いの取行を行う。
5. 競技会に参加する上で東京都高体連バスケットボール男子専門部が示す注意事項を順守してもらう。
6. 代表者会議またはそれに代わる書面で、バスケットボール男子専門部のホームページをこまめに確認してもらうように呼び掛ける。急遽連絡を要する場合は専門部を通して各学校に連絡をする。

「チーム参加確認書」(別紙1)及び「東京都高体連バスケットボール男子専門部公式戦参加同意書」(別紙2)の虚偽記載及び虚偽申告について

各チームの健康状態の虚偽報告があった場合、厳重な処分を科すことがあります。
くれぐれも各チーム虚偽申告を行わないようお願いします。

【大会会場運営について】

1. 感染防止のため高体連バスケットボール男子専門部が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所(大会の受付場所等)に掲示する。
2. アルコール消毒を、各更衣場所、体育館、手洗い場、トイレ等それぞれに設置する。
3. 高体連役員は、ドアノブなど参加者が手を触れる場所を定期的に巡回し、アルコール消毒を行う。
4. 各事項が遵守徹底されているか会場内を定期的に巡回・確認する。
5. 全てのドアおよび窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
6. 参加者が試合中に座るベンチについては、なるべく間隔を空け、密を防ぐ工夫を行う。
※なお、この事項に関しては競技規則の限りではない。
7. 大会に参加する全ての者はマスクを着用するが、熱中症のリスクを考慮し状況に応じてマスクをはずす。
8. 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日の全参加者を把握するとともに、記録し、期間(一ヶ月以上)を定めて保存しておく。
9. 大会後の参加者の新型コロナウイルス感染に備え、当日の参加者へ直ちに連絡できる体制を整えておく。

【選手及び参加校への確認事項】

1. 会場への到着は、原則として試合開始予定時間の1時間30分前とする。
2. 引率責任者のみが本部へ到着の報告を行い、会場責任者の指示に従う。
3. 各校引率責任者は、「チーム参加確認書」(別紙1)と、参加者全員分の「東京都高体連バスケットボール男子専門部公式戦参加同意書」(別紙2)を本部に提出する。
4. チームの入場は、会場責任者の指示により、必ず検温をした後、許可を受けてから入場する。
5. 体育館入場の前後には必ず入り口で手指の消毒を行う。
6. 参加者(選手、引率責任者、コーチ、Aコーチ、マネージャー、トレーナー、役員、審判)以外の者の試合会場への立ち入りを認めない。(TeamJBAにて選手登録しているベンチパーソン以外の部員は選手として扱う)。
7. 当面の間、保護者及びOB等の観覧者の来場は一切認めない
8. 集合から解散までの間、指定された場所にいること。
9. 試合後、ミーティング、更衣等が終わったら、TO、モップを担当する以外の生徒は即解散すること。

※敗戦チームは更衣の上、速やかに会場を出ること。

※勝利チームは、テーブルオフィシャルズ4名、フロアキーパー2名、引率教諭1名の計7名以外は、速やかに更衣の上、会場を出ること。

10. 会場内が長時間、大人数になることを避けるために、ベンチパーソン以外の部員は自チームの試合中のみ会場にいることができる。その際、当該試合開始前の30分より前に集合することはないようにする。
11. 競技出場者(審判含む)以外の参加者については、常にマスクを着用する。
12. テーブルオフィシャルズおよびフロアキーパーは、マスクを必ず着用すること。
13. 試合前後または試合中に、握手、ハイタッチ等の接触は避ける。
14. 大きな声での会話や応援をしない。
15. ゴミは必ず持ち帰ること。特に鼻水、唾液などが付いたごみや使用したマスクは、ビニール袋に入れて密閉して縛り持ち帰ること。
16. 十分な距離の確保
 - ア 感染予防の観点から、更衣や準備運動等においては、周囲の人となるべく距離を空ける。
 - イ 強度が高い準備運動等の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける。
17. 運動中に、唾や痰をはくことは行わない。
18. タオルの共用はしない。
19. 飲食について
 - ア 参加者は、各個人で飲み物を用意する。
 - イ 試合中に参加者が飲み物を飲む場合は、自分のベンチに座り飲むようにする。
 - ウ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにする。
 - エ 飲み残したスポーツドリンク等を会場に捨ててはいけない。
 - オ 競技中に使用した用具は、適宜消毒する。(ベンチなど)

20. スカウティングについて

- ア 1チームにつき3名（引率責任者を含む）までの範囲に限定しスカウティング活動を行うことができる。
- イ 但し、スカウティング活動を行う場合は、各会場責任者の指示に従うこと。
- ウ 入場に関しては、前記「4」と同様とし、必ず、「東京都高体連バスケットボール男子専門部公式戦参加同意書」（別紙2）を提出すること。

【試合当日の対応】

1. 会場設営時にベンチ、審判控室、手洗い場、トイレ等の消毒を行う。
2. 体育館内及び更衣室などの全てのドアおよび窓を開け、三密が発生する環境を阻止する。
3. 試合に関わる全ての人（高体連役員、大会運営者、その他関係者）の試合当日に健康チェックシートを提出してもらい健康状態チェックを行う。
4. 健康状態チェックで、準備段階で体調が悪い人がいた場合は、すぐに帰宅させる。
5. 会場入り口（受付）にて、非接触体温計で検温を実施する。
6. 試合開始前、ハーフタイムにボールの消毒を行う。
7. 試合終了後、ベンチ及び TO 機器の消毒を行う。その際、会場によっては使用したベンチの消毒をお願いすることもある。
8. アルコール消毒液を、体育館入口、各更衣場所、手洗い場、トイレ等それぞれに設置し、手洗い場、トイレには液体石鹸を設置する。

【引率責任者にご協力頂くこと】

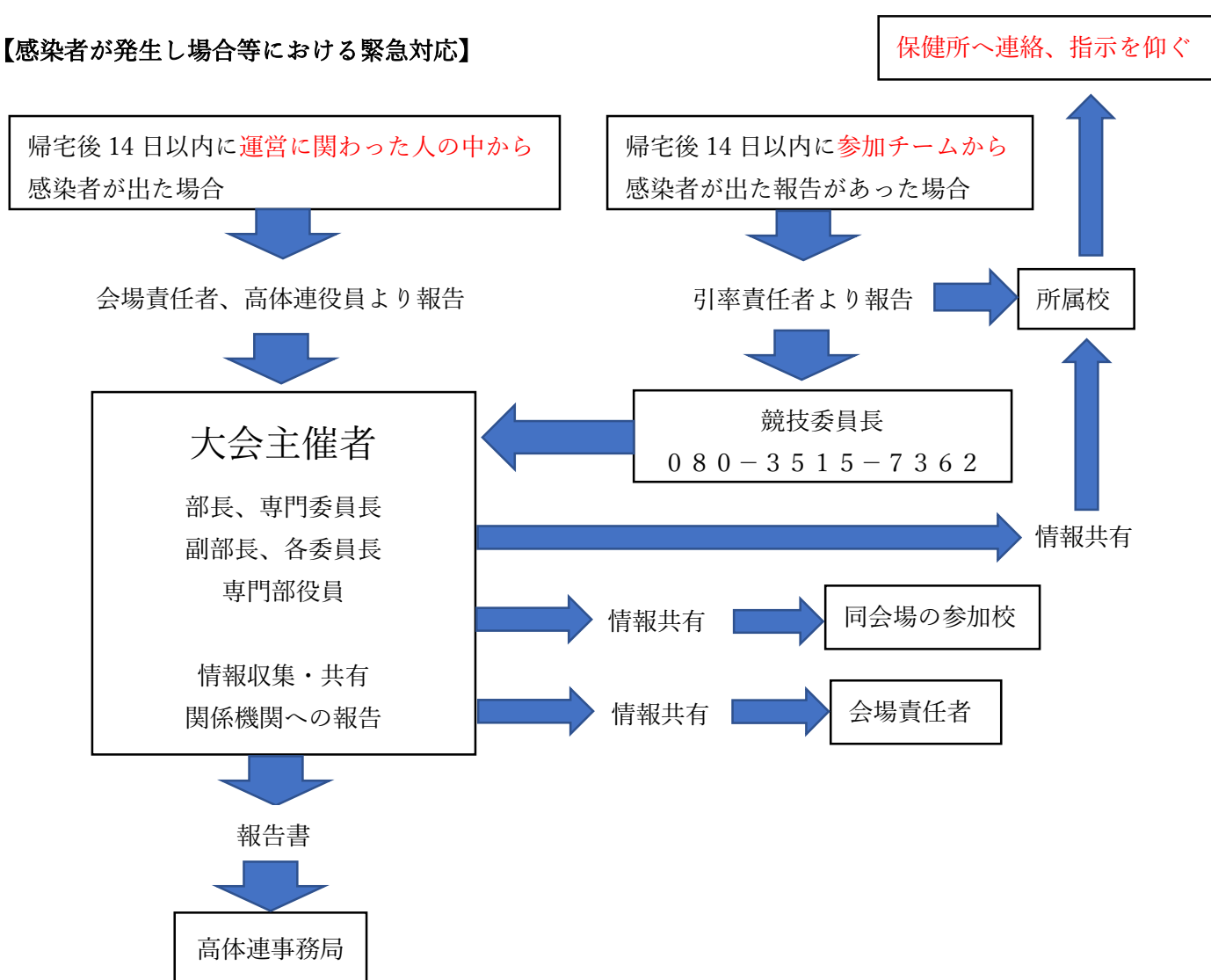
1. チームの感染症対策責任者として、部員全員の体調を管理する。
2. 大会参加にあたり、生徒・保護者からの同意書を得る。
3. 「東京都高体連バスケットボール男子専門部公式戦参加同意書」に当日の参加者の氏名・連絡先・体調を記録し、大会終了後1か月間の保管。
4. 参加者が以下の事項に該当する場合、大会参加を見合わせるよう指導を行う。
 - ア 体調がよくない場合（例:平熱を超える発熱・咳・咽頭痛・強いだるさ・息苦しさ・味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 濃厚接触者である場合
 - エ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
5. 試合当日、出場選手の体調に異変を感じたら、当該校の責任において、参加を見合わせる。
6. 参加生徒への手洗い・手指消毒指導の徹底。
7. 試合前後のミーティング時に3密の状況を避ける。
8. 無観客試合での開催のため、会場への入場に制限があることをチーム関係者に周知・徹底する。
9. 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う指導を行う。
10. 当日の参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やか

に支部長まで報告する。

【陽性反応者が出た場合について】（対象者：チームスタッフ、選手等）

1. 試合日の前後2週間以内に新型コロナウイルス感染症の陽性反応者がでた場合
速やかに競技委員長携帯番号へ連絡し、当該者の試合出場、不出場に関係なく、保健所、行政機関等の指示を仰ぎ、以降のチーム出場可否の判断を当該の学校が行う。
2. 試合日後2週間以内、対戦相手に新型コロナウイルス感染症の陽性反応者がでた場合
専門部より状況を連絡し、保健所、行政機関等の指示を仰ぎ、以降のチーム出場可否の判断を当該の学校が行う。

【感染者が発生した場合等における緊急対応】



【感染者が発生した場合等における緊急対応】（役員用）（部外秘）

